

JCI JAPAN TOYP エントリーシート



性別	男		
ふりがな	にしな はつき		
氏名	仁科 八起		
所属企業・団体名	株式会社さめたろう	所属企業・団体役職	代表取締役
活動カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス、経済、起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理、環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成、世界平和、人権 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治、法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()		
活動エリア及び活動内容	<p>特に鹿児島を拠点に活動しており、本来捨てられるサメを漁師から買い取り加工場で捌いたのちに自身の飲食店である『さめたろう』や東京、大阪などの飲食店に卸売をしております。また、サメの本場である気仙沼からサメを買い取り『まるでトロのようなサメ刺し』を発祥して行くためにecの準備なども同時並行して進めているサメ肉専門の会社を運営しております。</p>		
質問①	<p>Q1. この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか（ビジョン）</p> <p>未利用魚ゼロを目的に活動しています。そもそも、日本の漁獲された魚のうちおよそ3分の1が捨てられているのが今の現状です。この背景は、市場ニーズにマッチングしなかったりサイズが不均一な為、取り扱いづらかったりすることで発生しております。そこで、本来なら捨てられるはずだった未利用魚の代表格としてサメの消費者市場を作ること、漁師さんの収入安定や捨てられる魚を世の中から全て無くすために活動しております。</p>		
質問②	<p>Q2. 未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください（アクション）</p> <p>未利用魚ゼロの世界を達成するために、浸透しやすいサメから廃棄率ゼロにする為に活動しております。具体的には、鹿児島の定置網で漁獲されたシュモクザメや100kgほどのイタチザメを鹿児島の漁師から買い取り、自社の加工場で切り身にして飲食店で取り扱ったり他域の飲食店に卸売をしたりしております。今後は他県のサメも交えながらサメが消費される世界線作りの為に未利用魚の意識浸透や他魚種の展開も進めて行く予定です。</p>		
質問③	<p>Q3. あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか（インパクト）</p> <p>漁師の収入向上や離島漁師の人材不足解消に繋がります。漁師の収入源は魚を売る事です。一方で、支出面はサメによって壊れた網の修理や釣れた魚にサメが食いつき商品価値が下がる事です。例として八丈島海域では、サメによる漁業被害額は1年間で約1億円の被害が出ています。そこで、私たちは見える収入の向上を図りながら見えない負の支出面のカバーの二面性から解決することで漁師の収入向上に全力で取り組んでいます。</p>		
経歴 自己PR	<p>魚住町出身、魚座 両親の影響で幼い頃から魚が大好きで水産高校に進学し現在は鹿児島大学水産学部在籍しているさめたろうです！！！！①全国水産・海洋高校生徒研究発表大会 最優秀賞、文部科学大臣賞、水産庁長官賞受賞 ②そうしんアグリビジネスプランコンテスト 2019 優秀賞受賞 ③魁!!薩摩の虎〜かごしまをバズらせたい私たち〜 ベストワン賞受賞 ④兵庫教育委員会ゆずりは賞受賞 ⑤マリンマイスター顕彰受賞</p>		
活動内容写真			